

## 目標指標について（案）

### 1. 現行計画進捗状況概要

<平成25年度目標に対する平成23年度の進捗状況>

① 既に達成	34 項目 (42.5%)
② 概ね8割以上	16 項目 (20.0%)
③ その他	30 項目 (37.5%)
④ 目標値のないもの	19 項目

#### (1) 目標達成の主な理由

施策を着実に推進してきたことにより、成果が上がったことなど。

- (例)・森林整備面積間伐及び複層林（累計）  
→林業再生・飛躍次世代プロジェクトの着実に推進されたため。  
・新エネルギー導入施設件数（民間・公共施設）（累計）  
→国において「固定価格買取制度」や「基金事業」が創設されたこと、また、県において補助や融資制度を充実させたこと等

#### (2) 進捗率が低い主な理由

重点的な整備を行ったことや、施策を推進したが十分な浸透を図ることができなかったもの、また、天候等予定していなかった特殊事情により進捗が遅れたことなど。

- (例)・公園施設緑化実施箇所数（累計）  
→実施箇所を厳選し、重点的な整備を行ったため。  
・硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）の濃度  
→伊方原発停止による電力不足の影響を受けて火力発電施設の稼働率を増加させたことによる。

#### (3) 目標値を設定していなかった主な理由

当初から事業計画や根拠としている計画の終期が計画期間内であったことなど。

- (例)・土木環境共生事業完了箇所数（累計）  
→期限が平成18年度までの事業であったため。  
・瀬戸内海区域（県内）の汚濁負荷量  
→平成25年度を目標とする総量削減計画が策定されていなかったため。

○徳島県環境基本計画の進捗状況(平成25年度目標に対する平成23年度の進捗状況)

<主要施策>

主要施策	全体 (再掲8項目除く)		長期的目標Ⅰ 人と自然との共生		長期的目標Ⅱ 循環を基調とする健全な社会の実現		長期的目標Ⅲ 地球環境保全への貢献		長期的目標Ⅳ 参加と協働による環境保全への取組	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
① 既に達成	34	42.5%	5	23.8%	22	47.8%	2	25.0%	7	53.8%
② 進捗率が概ね8割以上	16	20.0%	8	38.1%	7	15.2%	3	37.5%	2	15.4%
小計(①+②)	50	62.5%	13	61.9%	29	63.0%	5	62.5%	9	69.2%
③ その他	30	37.5%	8	38.1%	17	37.0%	3	37.5%	4	30.8%
合計(①+②+③)	80	100.0%	21	100.0%	46	100.0%	8	100.0%	13	100.0%
④ 平成25年度目標値がないもの	19	—	7	—	8	—	1	—	3	—

※斜体数字は再掲項目数を含む

徳島県環境基本計画（現行計画）の進捗状況一覧表

<主要施策>

長期的目標	施策体系	区分	設定の目的	主な指標の項目	基準値	現状値	目標値		(a)/(b)	備考	25年度目標に対する23年度の進捗状況(%)			
					(平成14年度)	(平成23年度)	平成18年度	平成25年度(b)						
I 人と自然との共生	1-1 多様な自然環境の保全とふれあいの創造	総合的	すくれた自然環境を保全する体制を点検します。	県立自然公園計画策定区域数(累計)	— (平成15年度)	3区域	3区域	6区域	50.0%		③			
				環境重視の多様な森林づくりが進んでいるか点検します。	森林整備面積間伐及び複層林(累計)	6,824ha	75,174ha	35,010ha	61,000ha (平成24年度)	123.2%		①		
				様々な生き物の生息・生育の場が保全・創出されているか点検します。	ビオトープ創出箇所数(累計)	10ヶ所	30ヶ所	30ヶ所	100ヶ所	30.0%		③		
				多くの人々が豊かな自然とふれあっているか点検します。	自然公園利用者数(年間)	436万人 (平成13年度)	347万人	445万人	460万人	75.4%		③		
				個別的	多様な自然環境を保全する取組を点検します。	自然再生事業実施地区数	— (平成15年度)	1地区	2地区	—		平成25年度目標値なし	基準無	
						自然環境保全箇所数(県管理河川/累計)	5ヶ所	11ヶ所	11ヶ所	14ヶ所	78.6%		③	
						土木環境共生事業完了箇所数(累計)	37ヶ所	54ヶ所	54ヶ所	—		平成25年度目標値なし	基準無	
						森林の保全が適切に行われているか点検します。	間伐実施面積(累計)	6,762ha	72,250ha	34,300ha	58,800ha (平成24年度)	122.9%		①
							複層林誘導面積(累計)	62ha	2,924ha	710ha	2,200ha (平成24年度)	132.9%		①
							保安林指定面積	85,272ha	95,176ha	89,950ha	96,950ha	98.2%		②
		環境負荷の少ない農業や環境との調和に配慮した農村整備が行われているか点検します。	エコファーマー認定数(累計)				507人	1,626人	1,000人	2,000人	81.3%		②	
			自然環境調査に基づく事業計画策定地区数(累計)			9地区 (平成15年度)	45地区	27地区	48地区	93.8%		②		
		様々な生き物の生息・生育の場が保全・創出されているか点検します。	鳥獣保護区箇所数(累計)			54ヶ所	53ヶ所	55ヶ所	—		平成25年度目標値なし	基準無		
						ビオトープ創出箇所数(累計)〔再掲〕			(再掲)					
			多くの人々が豊かな自然とふれあっているか点検します。	自然公園利用者数(年間)〔再掲〕			(再掲)							
				県内グリーン・ツーリズム関係施設宿泊者数	41,000人 (平成13年度)	105,268人	45,000人	47,000人 (平成23年度)	224.0%		①			

施策体系		区分	設定の目的	主な指標の項目	基準値	現状値	目標値		(a)/(b)	備考	25年度目標に対する23年度の進捗状況(C)					
長期的目標	施策体系				(平成14年度)	(平成23年度)	平成18年度	平成25年度(b)								
I	潤いのある魅力的な生活空間の保全と創造	総合的	身近な緑や水辺が創出されているか点検します。	1人当たり都市公園等面積	7.1m <sup>2</sup> /人	9.4m <sup>2</sup> /人	8.1m <sup>2</sup> /人	10.3m <sup>2</sup> /人 (平成22年度末)	91.3%		②					
				多自然型護岸整備延長 (河川・砂防の合計)	52.2km	96km	70.6km	111.5km	86.1%		②					
		個別的	身近に緑や水辺とふれあえる場が創出・確保されているか点検します。	1人当たり都市公園等面積 〔再掲〕				(再掲)								
				公共施設緑化実施箇所数 (累計)	101ヶ所	148ヶ所	130ヶ所	199ヶ所 (平成24年度末)	74.4%		③					
				道路(街路)緑化延長(累計)	11.2km	18.1km	拡大を図る		-		①					
				森づくり運動拠点整備数 (累計)	6カ所	8ヶ所	8カ所	-		平成25年度目標値なし	基準無					
				多自然型護岸整備延長 (河川/累計)	52km	95km	70km	110km	86.4%		②					
				多自然型護岸整備延長 (砂防/累計)	0.2km	1.1km	0.6km	1.5km	73.3%		③					
				土木環境共生事業完了箇所数 (累計)	37ヶ所	54ヶ所	54ヶ所	-		平成25年度目標値なし	基準無					
				快適で美しい居住環境が整備されているか点検します。	電線類地中化延長(累計)	5.5km	11.0km	7.0km	-		平成25年度目標値なし	基準無				
				歴史的・文化的資源が適切に保全されているか点検します。	四国いやしの道登録距離数 (累計)	59.2km	175.8km	110km	-		平成25年度目標値なし	基準無				
					文化財指定数(累計)	409件 (H16.1.30現在)	426件	418件	432件	98.6%		②				
		II	循環を基調とする健全な社会の実現	2-1	大気環境の保全	総合的	清々しいきれいな空気が保たれているか点検します。	大気汚染に関する環境基準達成率 ※一般環境及び自動車排出ガス	二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )の濃度	100%	100%	100%	環境基準の達成を維持	-	①	
								二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )の濃度	100%	100%	100%	環境基準の達成を維持	-	①		
浮遊粒子状物質(SPM)の濃度 (一般46%)	100%							72.20%	100%	環境基準の達成を維持	-	③				
有害大気汚染物質の環境基準達成率	トリクロロエチレンの濃度							100%	100%	環境基準の達成を維持	-	①				
	ベンゼンの濃度							50%	100%	環境基準の達成を維持	-	①				
個別的	工場等で大気汚染物質の排出が減っているか点検します。							主要工場の大気汚染物質排出量	硫酸酸化物(SO <sub>x</sub> )	121万Nm <sup>3</sup> /年	131万Nm <sup>3</sup> /年	今後さらに抑制		-	小数値ほど良	③
								窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )	413万Nm <sup>3</sup> /年	354万Nm <sup>3</sup> /年	今後さらに抑制		-	小数値ほど良	①	

施策体系		区分	設定の目的	主な指標の項目	基準値	現状値	目標値		(a)/(b)	備考	25年度目標に対する23年度の進捗状況(C)
長期的目標	施策体系				(平成14年度)	(平成23年度)	平成18年度	平成25年度			
			自動車等で大気汚染物質の排出抑制対策が進んでいるか点検します。	県内での低公害車等の導入台数及び導入率(累計)	29,009台 (8.3%)	159,180台 (49.5%)  (平成24年3)	今後さらに拡大		-		①
			大気汚染の監視体制が適切に整備されているか点検します。	大気測定局地点数	25地点	25地点	現在の体制を維持		-		①
				有害大気汚染物質監視地点数	4地点	4地点	現在の体制を維持(H17からH20まで国が1地点調査)		-		①
	2-2 水環境の保全	総合的	きれいで安全な水質が保たれているか点検します。	公共用水域の環境基準達成率	92%	100%	環境基準の達成		-		①
				河川:生物化学的酸素要求量(BOD)							
				海域:化学的酸素要求量(COD)	91%	100%	環境基準の達成		-		①
				地下水の環境基準達成率(健康項目)	95%	100%	環境基準の達成		-		①
			生活排水対策が総合的に進んでいるか点検します。	汚水処理人口普及率	31.90%	51.10%	41%	64%	79.8%		③
		個別的	県内の水質汚濁物質排出量が減少しているか点検します。	瀬戸内海区域(県内)の汚濁負荷量※第5次総量削減計画の削減目標	化学的酸素要求量(COD)	41トン/日 (平成16年度)	31トン/日 (平成22年度)	36トン/日 (平成21年度)	-		平成25年度目標値なし 基準無
				窒素	27トン/日 (平成16年度)	18トン/日 (平成22年度)	20トン/日 (平成21年度)	-			平成25年度目標値なし 基準無
				りん	2.0トン/日 (平成16年度)	1.4トン/日 (平成22年度)	1.6トン/日 (平成21年度)	-			平成25年度目標値なし 基準無
			生活排水に対する個々の対策が進んでいるか点検します。	下水道整備人口	87,654人	122,223人	93,000人	175,000人	69.8%		③
				農・林・漁業集落排水施設整備人口	17,720人	21,533人	23,000人	36,000人	59.8%		③
				合併処理浄化槽整備人口	153,110人	250,810人	217,000人	296,000人	84.7%		②
				浄化槽法定受検率	29.50%	44.60%	36.50%	58.50%	76.2%		③
			命をむふるさとの川創生リーダーの養成〔再掲〕	17人 (平成16年度)	66人 (平成18年度)	50人	-				平成25年度目標値なし 基準無
			安心できる水質が確保されているか点検します。	貯水槽水道の検査の受検率	16%	17.00%	20%	30%	56.7%		③
				地下水の環境基準達成率(健康項目)〔再掲〕			(再掲)				

施策体系		区分	設定の目的	主な指標の項目	基準値	現状値	目標値		(a)/(b)	備考	25年度目標に対する23年度の進捗状況(C)	
長期的目標	施策体系				(平成14年度)	(平成23年度)	平成18年度	平成25年度				
			森林などの水源かん養機能が向上しているか点検します。	水源かん養保安林面積(累計)	69,932ha	79,074ha	73,630ha	79,270ha	99.8%		②	
				透水性舗装実施延長(累計)	18.5km	31.7km	23.5km	47.8km (平成24年度末)	66.3%		③	
			水質汚濁の監視体制が適切に整備されているか点検します。	公共用水域環境基準測定地点数	51地点	51地点	現在の体制を維持		-		①	
	2-3	土壌環境・地盤環境の保全	個別の	エコファーマー認定数(累計)			(再掲)					
			地盤への負荷を低減する取組が行われているか点検します。	地下水の揚水量(吉野川下流域)	16万m <sup>3</sup> /日	9.3万m <sup>3</sup> /日	現状レベルを維持		-	小数値ほど良	①	
	2-4	騒音・振動・悪臭等の防止	総合的	騒音のない静かな生活環境が保たれているか点検します。	一般環境騒音に関する環境基準達成率	96%	100%	100%	環境基準の達成を維持	-	①	
			個別の	自動車騒音の抑制対策が進んでいるか点検します。	自動車騒音面的評価区間の達成割合	13%	98.40%	30%	100%	98.4%	②	
			畜産による悪臭対策が進んでいるか点検します。	畜産経営に起因する悪臭発生苦情件数(年間)	16件 (平成15年度)	15件	3件	0件	-	小数値ほど良	③	
	2-5	化学物質による環境汚染の防止	総合的	化学物質による汚染のない環境が保たれているか点検します。	ダイオキシン類の環境基準達成率(大気・水質・底質・土壌)	100%	100%	環境基準の達成を維持		-	①	
			個別の	化学物質による環境汚染を防止する取組を点検します。	化学物質自主管理事業所数	287事業所 (平成15年度)	299事業所	400	600	49.8%	③	
			化学物質の適切な処理が行われているか点検します。	ポリ塩化ビフェニル(PCB)の適正処理実施率	- (平成15年度)	17.10% (平成22年度 高圧トランス、 高圧コンデンサ)	-	100% (平成28年度)	17.1%	集計時点の徳島県の重点搬入期間H22のみ。H23、H25、H26に重点搬入期間あり。	③	
	2-6	資源の循環利用と廃棄物の適正処理	総合的	暮らしや事業活動から発生する廃棄物が抑制されているか点検します。	一般廃棄物排出量	314千t (平成15年度)	278千t (平成22年度)	-	259千t (平成22年度)	107.3%	小数値ほど良	③
					1日1人当たり排出量	1,041g (平成15年度)	959g (平成22年度)	-	889g (平成22年度)	107.9%	③	
			産業廃棄物排出量	3,068千t (平成15年度)	2,927千t (平成20年度)	-	3,120千t (平成22年度)	93.8%	①			
			廃棄物(資源)のリサイクルが進んでいるか点検します。	一般廃棄物リサイクル率(総資源化率)	16.50% (平成15年度)	18.20% (平成22年度)	-	26% (平成22年度)	70.0%	③		
			産業廃棄物リサイクル率(再生利用率)	55% (平成15年度)	47.20% (平成20年度)	-	59% (平成22年度)	80.0%	③			
			廃棄物処理による環境負荷が抑制されているか点検します。	一般廃棄物最終処分量	56千t (平成15年度)	33千t (平成22年度)	-	33千t (平成22年度)	100.0%	①		
		産業廃棄物最終処分量	168千t (平成15年度)	132千t (平成20年度)	-	100千t (平成22年度)	132.0%	③				

施策体系		区分	設定の目的	主な指標の項目	基準値	現状値	目標値		(a)/(b)	備考	25年度目標に対する23年度の進捗状況(C)			
長期的目標	施策体系				(平成14年度)	(a) (平成23年度)	平成18年度	平成25年度 (b)						
			個別の 様々な資源のリサイクルが進んでいるか点検します。	建設廃棄物リサイクル率	84% (平成14年度)	90% (平成20年度)	88% (平成17年度)	91% (平成22年度)	98.9%		②			
				建設発生土リサイクル率	72% (平成14年度)	74% (平成20年度)	75% (平成17年度)	90% (平成22年度)	82.2%		②			
				農業生産資材廃棄物(廃プラ)回収率	78% (平成15年度)	95%	80%	90% (平成24年度)	105.6%		①			
				家畜排せつ物堆肥化率	74% (平成15年度)	92%	94%	100% (平成24年度)	92.0%		②			
				リサイクルを促進する制度や体制の整備が進んでいるか点検します。	エコショップ認定件数(累計)	328件 (平成15年度)	451件	345件	—		平成25年度目標値なし	基準無		
					循環資源交換情報システム登録件数	188件 (平成15年度)	129件	250件	—		平成25年度目標値なし	基準無		
					グリーン調達方針策定市町村数	2団体 (平成15年度)	2団体	全市町村	全市町村	8.3%		③		
					廃棄物の適正な処理に向けた体制整備が進んでいるか点検します。	ごみ処理広域化施設整備数	— (平成15年度)	1ヶ所	1ヶ所	—		平成25年度目標値なし	基準無	
				2-7	エネルギーの有効利用	個別の 省エネルギーの取組が進んでいるか点検します。	車両用LED(発光ダイオード)式信号灯器の整備率	10% (平成15年度)	54.10% (歩行者用は55.9%)	18%	さらに拡大	—		①
						自然(再生)エネルギーの利用が進んでいるか点検します。	家庭用太陽光発電施設の導入件数(累計)	1,339件	8,306件	1,600件	2,300件	361.1%		①
			新エネルギー導入施設件数(民間・公共施設)(累計)	70件	272件	80件	100件	272.0%		①				
Ⅲ	地球環境保全への貢献	3-1	地球温暖化の防止	総合的	温室効果ガスの排出量が減少しているか点検します。	温室効果ガス総排出量	6,942千t- (平成2年度)	5,978千t- (平成21年度)	—	6,248千t-CO <sub>2</sub> (平成22年度)	95.7%	小数値ほど良	①	
					二酸化炭素を吸収する森林が増加しているか点検します。	二酸化炭素吸収量算入対象森林面積	219千ha	221千ha	220千ha	222千ha	99.5%		②	
			個別の	事業活動や県民生活において二酸化炭素排出抑制対策が進んでいるか点検します。	地球環境保全行動計画の個別行動計画の策定団体数	47団体 (平成15年度)	46団体	70団体	80団体 (平成22年度)	57.5%		③		
					地球温暖化防止実行計画の策定市町村数	48/50団体	23/24団体	全市町村	全市町村	95.8%		②		
					地球温暖化防止活動推進員活動回数	238回	71回	280回	350回	20.3%		③		
					県内での低公害車等の導入台数及び導入率(累計)			(再掲)						
					二酸化炭素を吸収する森林が増加しているか点検します。	二酸化炭素吸収量算入対象森林面積【再掲】			(再掲)					

施策体系		区分	設定の目的	主な指標の項目	基準値	現状値	目標値		(a) / (b)	備考	25年度目標に対する23年度の進捗状況(C)		
長期的目標	施策体系				(平成14年度)	(平成23年度)	平成18年度	平成25年度(b)					
		3-2	オゾン層の保護							平成25年度目標値なし	基準無		
		3-3	酸性雨対策の推進	個別の 酸性雨の監視体制が適切に整備されているか点検します。	酸性雨観測地点数	5地点	3地点	現在の体制を維持	-		③		
IV	参加と協働による環境保全への取組	4-1	環境教育・環境学習の充実	総合的	環境学習の機会に多くの県民が参加しているか点検します。	各種環境プログラム参加者数	782人	1120人	今後さらに拡大	-		①	
				総合的	県民自ら取り組む環境学習への支援が進んでいるか点検します。	環境アドバイザー派遣回数/受講者数(年間)	29回/1,470人	55回/3,693人	35回/1,750人	50回/2,500人	147.7%		①
		個別の	環境学習を担う人材の育成が進んでいるか点検します。	環境アドバイザー登録者数(累計)	27人	35人	30人	-		平成25年度目標値なし	基準無		
				環境カウンセラー登録者数(累計)	21人	29人	30人	50人	58.0%		③		
			学校での環境教育や取組が進んでいるか点検します。	「学校版環境ISO」取組校数(累計)	- (平成15年度)	231校	30校	さらに拡大	-		①		
				環境教育に関する教員育成人数(累計)	45人	925人	70人	-		平成25年度目標値なし	基準無		
			県民に環境学習の機会や場が提供されているか点検します。	環境学習プログラム提供回数	68回	75回	今後さらに拡大	-		①			
				子どもエコクラブ登録数(毎年度)	31団体	33団体	40団体	55団体	60.0%		③		
		4-2	自主的な環境保全行動の促進	総合的	各主体の自主的な環境保全活動が活発に行われているか点検します。	環境首都とくしま憲章の県民への認知度(※アンケートによる)	- (平成15年度)	70.70%	80%	さらに拡大	-		③
						環境NPO登録団体数(NPO法人登録数)	22/64団体 (平成15年度)	115/319	今後さらに拡大	-		①	
						ISO14001認証取得事業所数(県・市町村を除く)	43事業所 (平成15年3月)	78事業所 (平成24年3月)	今後さらに拡大	-		①	
						アドプトプログラム参加団体数	410団体 (平成15年12月)	852団体	475団体	902団体	94.5%		②
				個別の	行政の自主的な環境活動が進んでいるか点検します。	ISO14001認証取得市町村数	1団体	1団体	3団体	8団体	12.5%		③
						地球温暖化防止実行計画策定市町村数			(再掲)				
各主体の連携による環境活動が進んでいるか点検します。	森づくり参加者数				383人	2,109人	1,000人	1,500人	140.6%		①		



## 2. 次期計画における目標指標の設定方針

### ○方針案

環境基本計画では、総合的な指標のみを設定することとする。

個別具体的な指標の設定については、他の分野別個別計画に委ねることとするが、他の分野別個別計画で設定した目標指標をとりまとめることにより、一括して進捗管理を行うこととする。

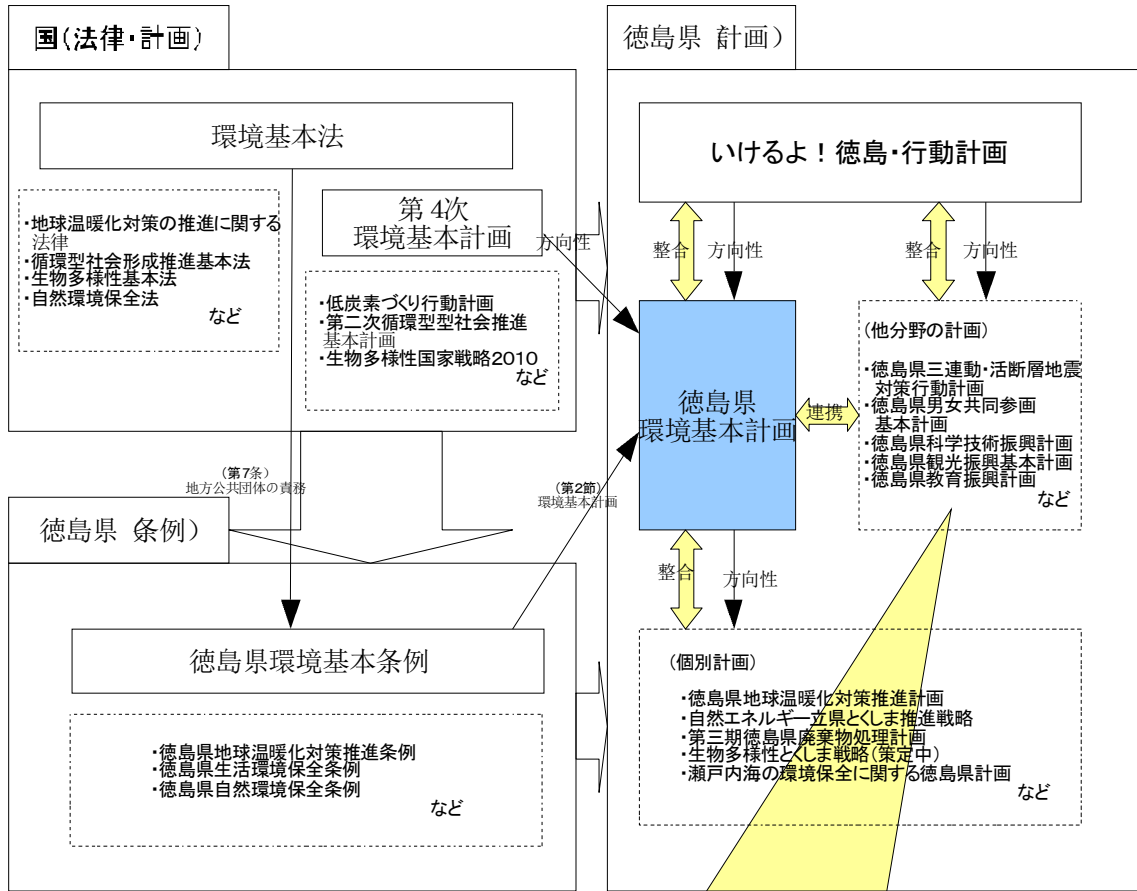
### (考え方)

環境基本計画は、県の施策の総合的な推進を図るための、基本的な方向性を示すものと位置づけられ、環境分野の上位計画として全体的・総合的な方向性を示し、その方向性に沿って、下位の分野別個別計画の中で具体的な指標を設定していくべきと考えられる。

具体的な目標指標を設定している他の分野別個別計画が多数あることから、環境基本計画においては、全体的・総合的な推進状況を点検・評価するためのいくつかの総合指標のみを設定することとする。

但し、各分野別個別計画で設定した目標指標をとりまとめることにより、総合的な進捗管理を行っていくこととする。

# 徳島県環境基本計画の位置づけ(イメージ図)



## 第2次徳島県環境基本計画の目標達成のための主な計画等

- 1 スマート社会とくしま
  - 徳島県地球温暖化対策推進計画
  - 徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画
- 2 自然エネルギー革命
  - 自然エネルギー立県とくしま推進戦略
- 3 好循環社会とくしま
  - 第三期徳島県廃棄物処理計画
  - とくしま污水処理構想
- 4 癒しの郷とくしま
  - 生物多様性とくしま戦略(策定中)
  - 特定鳥獣適正管理計画
- 5 ecoで防災・減災
  - 徳島県災害廃棄物処理計画
- 6 環境リーダーとくしま
  - 自然エネルギー立県とくしま推進戦略
  - 関西広域環境保全計画
  - 徳島県公共事業環境配慮指針
  - 徳島県科学技術振興計画
- 7 みんなでつくる環境首都
  - 徳島県環境学習推進方針
  - 徳島県教育振興計画

など